

2006年ガイダンスアンケートまとめ

1, 2006年ガイダンスのポイント

1) 新企画のガイダンスを実施した

- a 新入生向けライブラリーツアー
- b 編入生ガイダンス
- c 留学生向け授業における図書館ガイダンス
- d 研究室訪問(リモートアクセス説明)
- e 英語によるガイダンス実施

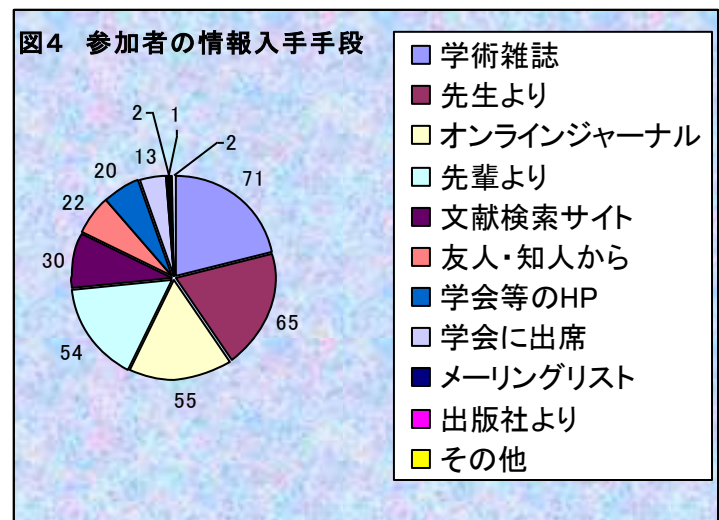
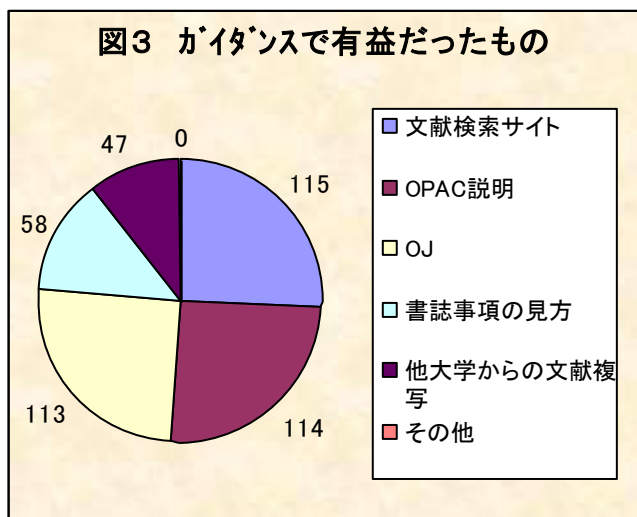
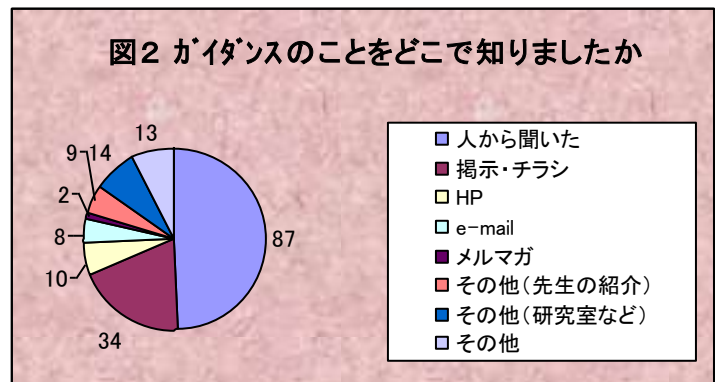
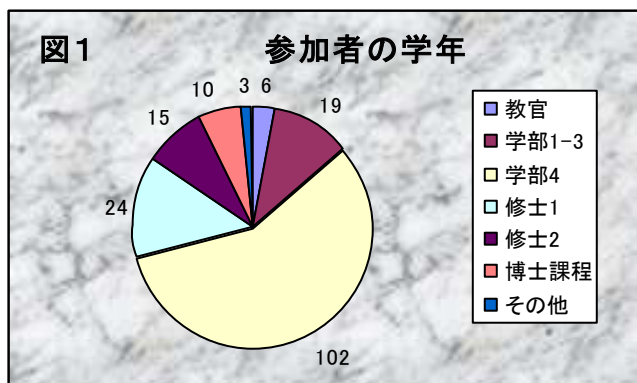
特に英語によるガイダンスでは留学生がいかに収集に苦労しているかを実感し、今後わかりやすく丁寧なガイダンスを継続的に実施していく必要性を痛感した。

2) 従来行っている新ゼミ生のためのガイダンスの実施回数が過去7年で最多になった。

——→ ゼミでの図書館ガイダンスの定着がうかがえる。

2, 実施結果

1) アンケート(選択肢)



2) 感想(原文のまま)

1	数年前にもガイダンスを受けたが、当時より検索が便利になっていて驚いた。4年生用のガイダンスだと思っていたが、博士の学生でも参考になる情報が多く、今後用いたいと思う。
2	今まで論文を読む機会が少なく、自分で探す必要もなかったのですが、研究・実験を始めるに当たり、他の人

	の研究内容を知りたいと感じていたので、検索方法がわかりました。これからどんどん活用していきます。ありがとうございました。
3	今まで探すのに苦労していましたが、これからはスムーズに文献を見つけることが出来そうです。ありがとうございました。
4	書籍や論文検索のコツなど、これまで分からなかったことを丁寧に説明していただいたので分かり易かった。Jdream で、abstract が日本語で表示されることが分かったのは、とても有益なことだった。
5	大変分かりやすい説明でした。自分たちの研究テーマを例として示してくれたため、検索の重要性をより強く感じる事ができました。
6	1 から教えて頂けて本当に勉強になりました。今日学んだことを生かしてこれから論文のために役立てていきたいと思えます。
7	学内図書館のHPから、様々な文献検索が出来ることを知り、とてもためになりました。ありがとうございました。
8	Scopus の存在を知らなかったので役立てたいと思えました。洋雑誌の図書館の検索方法が分かって良かったです。
9	今まで書籍の検索や取り寄せを書籍や蔵書にのみ頼っており難儀しておりました。今回のガイダンスで得た技術を役立てていきたいと思えます。
10	オンラインジャーナルを積極的に使っていきたいと思えます。
11	大変分かりやすく御指導頂きありがとうございました。学生の強い味方の様に感じました。
12	今まで知らなかった文献検索の方法もあったので、これから有効利用していこうと思えます。図書館にも多くの論文があることを初めて知りました。
13	CiNii や JDream II などは今まで聞いたことがなかったのでこれから機会があれば利用したいと思えました。
14	日本語表現法の授業の時に説明を受けた内容より役立つ情報があり、参考になりました。
15	リンク/おすすめサイトはかなり便利だと思います。

3, まとめ

1	新ゼミ生のためのガイダンス実施回数:29 回(約 44 時間)→概要
2	受講者の過半数は4年生。→図1
3	人から(特に指導教官や研究室の先輩)きいてガイダンスに参加した学生が多い。→図2 ゼミの1コマとしての参加などもあった。
4	留学生のためのガイダンスは有益だった。実施方法や説明内容等については改善の余地あり。
5	情報検索環境が日進月歩なので、修士課程や博士課程に進学し、長い間在学する学生はブラッシュアップのために 2,3 年ごとにガイダンスを受ける必要があるのかもしれない。

ガイダンスへのご参加およびアンケートへのご協力ありがとうございました。結果は 2006 年秋、2007 年ガイダンスに役立ててまいります。他にご意見・ご要望等ございましたら、どんどんお寄せください。